



とよさとみなみ

豊里南 小学校

所在地	〒533－0013 東淀川区豊里5丁目12番41号
電話番号	06－6329－0880
FAX	06－6329－7083
校長名	森元 貴子
開校年度	昭和59年度



◆学校からのメッセージ

本校は、「よく考える子」「心豊かな子」「たくましい子」を校訓とし、「自らの力でよりよい未来を創り出そうとする子どもの育成」を目指しています。

今の子どもたちが大人になる未来社会は、予測困難で不透明な時代です。こういった時代を生き抜くためには、これまでのように、学校で学んだ知識を身に付けるだけでなく、自ら考え判断し行動する力が求められています。そのため、自らの力で未来を切り拓いていくたくましさや、新しい価値を生み出す創造性が必要です。自分たちの身の回りにある課題と真剣に向き合い、自分たちで解決していこうとする主体的な姿を実現できるように「探究的な学び」に挑戦しています。さらに、これからのデジタル時代を見据え、ICT活用も積極的に進めています。昨年度から「学習動画スタディサブリの活用校」として、今年度からは「生成AIパイロット校」として、ICTの有効活用のため、様々な実践に取り組んでいます。また、子どもたちが自律的に学びを進めていくことができるように、「自律学習」にも取り組んでいます。

放課後には各学級で学習支援をしたり、運動場で放課後遊びをしたり、図書室で本を読んだりして過ごせるとともに、家庭教師のトライと連携した「こぶしのみのり塾」や、区役所と連携した不登校支援の「サポートルーム」、夏季休業中のプール開放や「学習会」など、子どもたちの安心・安全な居場所としての学校運営にも取り組んでいます。

◆運営に関する計画

【安全・安心な教育の推進】

- ・令和7年度の小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を88%以上にする。
- ・令和7年度の校内アンケートにおける「自分からすすんであいさつをしていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・令和7年度の小学校学力経年調査における国語科および算数科の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.5ポイント向上させる。

- ・令和7年度の小学校学力経年調査における「毎日、同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時刻に起きていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を78%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- ・授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の80%以上にする。

◆令和6年度「全国学力・学習状況調査」結果から

国語科の平均正答率は、全国平均から4.7ポイント大阪市平均から3ポイント低く、算数科の平均正答率は、全国平均から7.4ポイント大阪市平均から6ポイント低いという結果であった。無解答率は国語科・算数科ともに全国平均や大阪市平均と比べると高くなっており、特に算数科において数値が高くなっている。国語科でも算数科でも、問題によっては半数近い児童が無解答となっており、問題を解けずにあきらめてしまっている傾向がうかがえる。正答率の分布を見ると、中・低位層の児童が占める割合に対して、上位層の児童が占める割合が低くなっており、平均正答率を引き下げる結果となっている。

学力の定着については個人差が大きいところがあるため、習熟度別少人数授業を継続したり、放課後学習を実施したりして個別指導を徹底している。また、ICTを活用して児童が自らの課題に応じた学習に取り組むことを目指して取り組んでいく。一人ひとりの学力を確実に定着させるには、基本的な生活習慣を整え、継続的な学習習慣を確立することが大切である。そのためにも、児童自身が自らの学びを自覚し、課題解決に向けて自己調整しながら、自分で自分の学びを進めていく力を身につける必要がある。学習は教えてもらうのを待つのではなく、自分から積極的に調べたり考えたりすることで、より楽しくより深く学ぶことができるといった思いを実現できるように、今後も授業改善に取り組んでいく。

平均正答率 (%)

	国語	算数
学校	63	56

【P.20に全国・大阪市平均を掲載。ご参照ください。】

◆令和6年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果から

男子はソフトボール投げ以外は全国・大阪市平均を下回っている。女子は上体起こしと長座体前屈が全国・大阪市平均を上回っているが、それ以外は下回っている。特に立ち幅跳びについては、男女とも平均を大きく下回っており課題となっている。

本校は運動場が広く、体育科の授業や休み時間の遊びなど、運動環境には恵まれている。学校の取り組みとして、縄跳び週間やかけ足週間など、全校児童で取り組む体育的行事も実施しており、まじめに取り組んでいる児童が多い。

一方で、基本的な生活習慣が身につけていない児童もあり、そういった児童はどうしても体育科の授業を見学しがちである。さらに、放課後や休日に家庭でゲームをしたり、テレビやYoutubeを見たりしている時間が長く、普段から運動する習慣のない児童が一定数いる。今年度から放課後の運動場を開放し、自由に遊ぶ時間を大幅に確保するようにしたが、まだ一部の児童だけが遊んでいるという現状がある。

「運動が大切だと思うか」に対して、全ての児童が肯定的に回答しており、運動することの大切さは理解することができている。また、「体育科の授業は楽しいか」に対して肯定的に回答する児童の割合も、男子は100%、女子も93.8%であるため、体を動かすことにはあまり抵抗はないと考えられる。体育科の授業においてとバランスよく体力や筋力がつくような授業展開を工夫することが大切であると考ええる。

種目別平均値

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅跳び	ボール投げ	体力合計点
男子	14.11	19.00	33.72	36.88	42.28	9.95	127.06	20.59	47.75
女子	14.44	20.38	38.31	36.88	35.5	10.14	126.67	10.19	51.27

【P.20に全国・大阪市平均を掲載。ご参照ください。】

◆学校行事の内容

【1学期】入学式(4月) 避難訓練(4月) 春の遠足(5月) 引き渡し訓練(5月) プール開き(6月) ミナクルパーティー(6月) 5年自然体験学習(6月)

【2学期】避難訓練(9月) たてわり班遠足(10月) 運動会(11月) 6年修学旅行(11月姫路セントラルパーク・ネスタリゾート) 作品展(11月)

【3学期】6年卒業遠足(1月キッザニア) 避難訓練(1月) 研究発表会(2月) 学習発表会(2月) 卒業生を送る会(3月) 卒業式(3月)



◆豊里南小学校の教育活動

自律的に 学びを進めていくことのできる 子どもの育成

学力向上という課題に対し、基礎基本の確実な定着のため、習熟度別少人数授業や個別指導などを徹底しています。それでもすぐには成果はあらわれません。児童が学習に向かう様子を見てみると、学習意欲が乏しく、受け身である様子が見てとれます。どうやら「学びに向かう力」が課題のようです。学力をもっと広い枠組みでとらえ、いわゆる「非認知能力」という視点から、自分の学びを自覚し、自らの学びを調整する力を育成することで、学力が向上すると考え教育活動に取り組んでいます。

＜自律的な学び＞

毎週月曜日の6時間目を「自律学習」の時間とし、自分の苦手なところや自分に必要な学習を考えて、計画的に取り組んでいます。自分自身の意志で学び、目標に向かって主体的に取り組む姿勢を大切にしています。

＜探究的な学び＞

毎週水・金曜日の5時間目は「探究」の時間として、自ら課題を見付け、協働的に課題解決に向かう学習を展開します。受け身で知識を吸収するのではなく、自ら問いを立てて、その答えを追究していく姿勢を大切にしています。

各教科等で身に付けるべき資質・能力

- 学びに向かう力・人間性等
- 個別の知識・技能
- 思考力・判断力・表現力等

ICTを活用した「個別最適な学び」の充実

デジタルドリル「Navima」や学習動画「スタディサブリ」はもちろん、生成AIパイロット校として、コニカミノルタ社の「tomolinks」という生成AIも導入し、子どもたちが自分の学びを自覚し、苦手を克服しながら、自らの学びを進めていくことができます。

体験的な学びの充実

トップアスリートによるスポーツ体験、「生き物探し」や化学実験などの理科特別授業、車いす体験や盲導犬体験といった福祉体験など、体験的な学びの充実に取り組んでいます。他にも雪印やグリコ、セブンイレブン、阪急電車など、様々な企業とも連携して、子どもたちの探究的な学びを目指しています。

学びを支える環境

水曜日以外は、16時30分まで、放課後学習や放課後遊びなどで過ごすことができ、学習内容の定着を図ったり、広い運動場や遊びの広場などで、のびのびと遊んで過ごしたりすることができます。毎週火曜日と金曜日は「こぶしのみのり塾」を開講しており、水曜日は放課後も図書室を開放して読書環境を整えています。



※豊里南小学校は適正配置対象校となっておりますが、ただちに具体化するものではありません。詳しくは、東淀川区役所ホームページ「東淀川区における学校配置の適正化の取り組み」でご確認ください。

